

氏名	植野 正之	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	口腔衛生学、予防歯科学、国際歯科学、公衆衛生学、行動科学				
学位	修士（公衆衛生学）、博士（歯学）				
学歴	東京医科歯科大学大学院歯学研究科予防歯科 博士課程 カリフォルニア大学バークレー校大学院公衆衛生学部行動科学科 修士課程				
経歴	2008年～2010年 東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野 助教 2010年～2018年 東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野 准教授 2018年～現在 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科 教授				
所属学会（役職）	日本歯科医学会、日本口腔衛生学会、口腔病学会、日本口腔外科学会、IADR、日本歯科衛生教育学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Oral health status and oral health services utilization of Myanmar residents in Japan	共著	あり	Myanmar Health Sciences Resource Journal; 31(1): 81-86	Kaung Myat Thwin, Wa Than Lin, Zar Chi Kyaw Myint, Takashi Zaitso, Akiko Oshiro, Masayuki Ueno, Yoko Kawaguchi	2019.4
2	Relationship between medical and dental health expenditures of industrial workers	共著	あり	Journal of Oral Health and Community Dentistry; 13(2): 54-58	Masayuki Ueno, Takashi Zaitso, Akiko Oshiro, Yoko Kawaguchi	2019.11
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	現在歯数と臼歯のかみ合わせに関する自己評価の妥当性について	共同	第68回日本口腔衛生学会、大津市、滋賀県	○植野正之、川口陽子	2019.5	
2	心不全非手術例の入院後肺炎発症に関する臨床統計的検討	共同	第64回日本口腔外科学会、札幌市、北海道	○園田格、倉沢 泰浩、丸岡 豊、関谷 秀樹、根岸 明秀、向山仁、杉崎 順平、植野正之、道脇幸博	2019.10	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	真猿類マーマセットの口腔内細菌メタゲノムを活用した次世代型口腔衛生の先駆モデル		研究分担者	2019.4～2020.3	
2	厚生労働省・労災疾病臨床研究補助金	歯科口腔保健と就労環境との関連に関する研究		研究分担者	2019.4～2020.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	口腔保健科学概論		2	日本と外国における歯科衛生士教育と臨床について写真や動画を活用し解説を行った。
2	口腔疾患予防学		4	口腔保健状態の把握の方法と代表的な口腔疾患に対する予防法について実例を交えて解説した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	口腔衛生学Ⅰ	○	15	口腔衛生学の意義、歯・口腔の正常像と機能、歯・口腔の異常、口腔内の不潔物、う蝕の発病および予防法、フッ化物の応用について具体例を示しながら分かりやすく解説した。
2	口腔衛生学Ⅱ	○	15	歯周疾患、不正咬合、口内炎、顎関節症、舌痛症、口腔がん、口腔乾燥症の発病機構および予防法について具体例を示しながら分かりやすく解説した。
3	地域歯科保健活動	○	15	母子歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健、成人歯科保健、高齢者歯科保健、障害者歯科保健について各分野の専門家による現場での実例を交えた解説を行った。
4	口腔保健科学特講		2	口腔衛生学分野における研究の最新トピックと歯科における疫学の応用について解説した。
5	口腔健康教育Ⅰ		2	歯科衛生士として身につけておくべき基本的ヘルスコミュニケーション技法について実技を交えて解説した。
6	う蝕予防処置法		4	効果的なう蝕予防法および各種フッ化物応用法について実技を交えて指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2019.8～2019.10	教員ファシリテーターとして、施設ファシリテーターと連携を取りながら、チームの学生の実習前後および実習中において必要な指導と相談を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導	3名 副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	アドバイザーグループ	2019.4～2020.3	学年間交流のアドバイザーとして学生13人に対し助言を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	食育セミナー	東京都調布市保健センター	味覚について学びましょう	2019.7
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本口腔衛生学会	学術委員・査読委員		2019.4～2020.3
2	日本歯科衛生教育学会	査読委員		2019.4～2020.3
3	口腔病学会	評議員・査読委員		2019.4～2020.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	読売新聞朝刊	幼児期から味覚を育む		2019.7
2	心とからだの健康	歯ならびや噛み合わせと、矯正治療について		2020.1
3	東武よみうり新聞	さわやかな息のために		2020.3

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健医療福祉科学学会編集委員会査読候補者		2019.4～2020.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス参加（2回）		2019.6、2016.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			